

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域密着型サービスが地域の認知症ケアの拠点となって多数の住民と関わる事は地域の福祉向上に寄与する上で大切な事柄である。地域住民に向けた認知症ケアの啓発に係る研修の実現を期待する。	運営推進会議での勉強会だけでなく、地域住民に向けての研修の場を作り、認知症に対する正しい理解と支援について情報発信する。	・地域住民に呼びかけ、入居者家族を交えての座談会や勉強会を開催する。 ・入居者家族に発行しているホーム通信を、地域住民向けにも認知症通信のような形で発行する。	12 か月
2	2	〃	認知症介護が身近にない世代への啓発活動をする。	・学校やサークル行事への参加、ボランティア受入れ等で、幅広い世代との交流を図る。 ・今後介護者になりうる世代との交流の機会を設け、定期的に研修会等を開催する。	24 か月
3	34	急変や事故発生時の備えとして、マニュアルを作り定期的に研修を行っているが、経験の浅い職員でも適確な判断で迅速に対応できるようにする。	全ての職員が適確で迅速な対応ができるように、応急手当や初期対応の技術を身につける。	・消防署等での外部研修に全員参加する。 ・法人内で医療職と連携し、研修を行う。 ・実践訓練をして身につける。	12 か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。